

地図に、歴史に、人の心に留まる仕事



Kadoya Teruhiko

謹啓 秋晴の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素はひとかどならぬご愛顧を賜り、ありがとうございます。

さて、私こそ、このたび8月をもちまして、代表取締役社長に就任いたしました。何分にも身に余る重責ではございますが、若ると行動力を活かし、皆さまのお役に立てるよう、誠心誠意努力してまいる所存でございます。

弊社は明治43年に門屋留一郎が松山市で創業し、これまで100年間にわたり愛媛県内を中心建築業を営んでまいりました。初代が大切にした「誠実・途々顧客本位」の気風は、現在も播らぐことなく受け継がれています。その象徴が社章である「留」であり、創業の精神を伝えてくために、今後も「留」のもと、社員一丸となつて業務にあたる所存です。

また、社訓の「満足していただこう。信頼していただこう。」は、どんな時代でも弊社の進むべき道を的確に示してくれる素晴らしい道標だと自負しております。今後はこの社訓に「感動していただこう。」を加えることでお客様との期待を超える商品・サービスを提供してまいります。

さらに、当社の最大の強みであり先代が最も大切にしてきた人脈・絆をより一層重視し、弊社のお客さまはもちろん、協力会社の皆さま、従業員など、弊社と関わるすべての方々との信頼関係を、層強固に構築していく所存です。この信頼関係をベースに、これから時代に即した経営戦略を取り入れ、誠心誠意日々の業務に取り組んでまいります。今後とも変わらぬ支援、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

謹白



謹啓 秋晴の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素はひとかどならぬご愛顧を賜り、ありがとうございます。

さて、私こそ、このたび8月をもちまして、代表取締役社長に就任いたしました。何分にも身に余る重責ではございますが、若ると行動力を活かし、皆さまのお役に立てるよう、誠心誠意努力してまいる所存でございます。

弊社は明治43年に門屋留一郎が松山市で創業し、これまで100年間にわたり愛媛県内を中心建築業を営んでまいりました。初代が大切にした「誠実・途々顧客本位」の気風は、現在も播らぐことなく受け継がれています。その象徴が社章である「留」であり、創業の精神を伝えてくために、今後も「留」のもと、社員一丸となつて業務にあたる所存です。

また、社訓の「満足していただこう。信頼していただこう。」は、どんな時代でも弊社の進むべき道を的確に示してくれる素晴らしい道標だと自負しております。今後はこの社訓に「感動していただこう。」を加えることでお客様との期待を超える商品・サービスを提供してまいります。

さらに、当社の最大の強みであり先代が最も大切にしてきた人脈・絆をより一層重視し、弊社のお客さまはもちろん、協力会社の皆さま、従業員など、弊社と関わるすべての方々との信頼関係を、層強固に構築していく所存です。この信頼関係をベースに、これから時代に即した経営戦略を取り入れ、誠心誠意日々の業務に取り組んでまいります。今後とも変わらぬ支援、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

謹啓 紅葉の季節、ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。日頃は格別のお引き立てをいただき、ありがとうございます。お礼申し上げます。

さて、私儀、8月をもちまして代表取締役社長を退任し、取締役会長に就任いたしました。社長在任中は公私にわたり、ひとかたならぬご厚情にあずかりましたこと、心からお礼申し上げます。

思い起こせば昭和28年、22歳で東京から呼び戻されたとき、弊社は2億円の負債を抱えておりました。当時できることといえば、受注に全力を傾け、着実に仕事をこなすことにだけでした。わずかな従業員とともにスマップ手に現場に立ち、家族同様の付き合いをしながら、先代の築いた人脈を頼り、仕事を探して回りました。昭和32年に代表取締役に就いてからも、ひたすら毎日人を訪ね、頭を下げ、丹念得意先を回り続けた結果、昭和40年には借金をすべて返済することができました。これもひとえに私を支えてくれた友人・知人、地域の皆さま、従業員など「人の絆」のおかげだと思感じております。特に松山J.C.、ライオンズで出会った仲間たちには感謝してもしきれないほどご支援をいただきました。本当にありがとうございました。

また、くじけそな私を奮い立たせてくれたのは、初代、門屋留一郎から受け継いだ「満足していただき、信頼していただこう。」という教えであり、創業の精神が宿る「留」を目にすると、勇気がわいてきました。今後は新社長に就任した門屋光彦がその精神をしっかりと受け継ぎ、さらには次の世代に引き継いでくれることを期待しています。これからも引き続き私同様、新社長および弊社にご支援、ご鞭撻をいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

おかげさまで100周年。  
株式会社門屋組は新体制のもと、  
新しい次の一步を踏み出します。



Kadoya Hiroshi

謹啓 紅葉の季節、ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。日頃は格別のお引き立てをいただき、ありがとうございます。お礼申し上げます。

さて、私儀、8月をもちまして代表取締役社長を退任し、取締役会長に就任いたしました。社長在任中は公私にわたり、ひとかたならぬご厚情にあずかりましたこと、心からお礼申し上げます。

思い起こせば昭和28年、22歳で東京から呼び戻されたとき、弊社は2億円の負債を抱えておりました。当時できることといえば、受注に全力を傾け、着実に仕事をこなすことだけでした。わずかな従業員とともにスマップ手に現場に立ち、家族同様の付き合いをしながら、先代の築いた人脈を頼り、仕事を探して回りました。昭和32年に代表取締役に就いてからも、ひたすら毎日人を訪ね、頭を下げ、丹念得意先を回り続けた結果、昭和40年には借金をすべて返済することができました。これもひとえに私を支えてくれた友人・知人、地域の皆さま、従業員など「人の絆」のおかげだと思感じております。特に松山J.C.、ライオンズで出会った仲間たちには感謝してもしきれないほどご支援をいただきました。本当にありがとうございました。

また、くじけそな私を奮い立たせてくれたのは、初代、門屋留一郎から受け継いだ「満足していただき、信頼していただこう。」という教えであり、創業の精神が宿る「留」を目にすると、勇気がわいてきました。今後は新社長に就任した門屋光彦がその精神をしっかりと受け継ぎ、さらには次の世代に引き継いでくれることを期待しています。これからも引き続き私同様、新社長および弊社にご支援、ご鞭撻をいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

謹啓 紅葉の季節、ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。日頃は格別のお引き立てをいただき、ありがとうございます。お礼申し上げます。

さて、私儀、8月をもちまして代表取締役社長を退任し、取締役会長に就任いたしました。社長在任中は公私にわたり、ひとかたならぬご厚情にあずかりましたこと、心からお礼申し上げます。

思い起こせば昭和28年、22歳で東京から呼び戻されたとき、弊社は2億円の負債を抱えておりました。当時できることといえば、受注に全力を傾け、着実に仕事をこなすことだけでした。わずかな従業員とともにスマップ手に現場に立ち、家族同様の付き合いをしながら、先代の築いた人脈を頼り、仕事を探して回りました。昭和32年に代表取締役に就いてからも、ひたすら毎日人を訪ね、頭を下げ、丹念得意先を回り続けた結果、昭和40年には借金をすべて返済することができました。これもひとえに私を支えてくれた友人・知人、地域の皆さま、従業員など「人の絆」のおかげだと思感じております。特に松山J.C.、ライオンズで出会った仲間たちには感謝してもしきれないほどご支援をいただきました。本当にありがとうございました。

また、くじけそな私を奮い立たせてくれたのは、初代、門屋留一郎から受け継いだ「満足していただき、信頼していただこう。」という教えであり、創業の精神が宿る「留」を目にすると、勇気がわいてきました。今後は新社長に就任した門屋光彦がその精神をしっかりと受け継ぎ、さらには次の世代に引き継いでくれることを期待しています。これからも引き続き私同様、新社長および弊社にご支援、ご鞭撻をいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

**満足していただこう。信頼していただこう。感動していただこう。**

株式会社 門屋組には、受け継がれていく“想い”があります。

これからの姿勢

絆 人と人との繋がりを大切にする

企 発注者のニーズを捉え設計する

誠 丁寧な仕事がものづくりの原点

建 信頼を築きそれが形になる

貫 伝統を踏まえ信念は搖るがず

株式会社 門屋組